

ゆるキャン△ 第16話～第18話 聖地巡礼

ゆるキャン△

あろ

芳文社

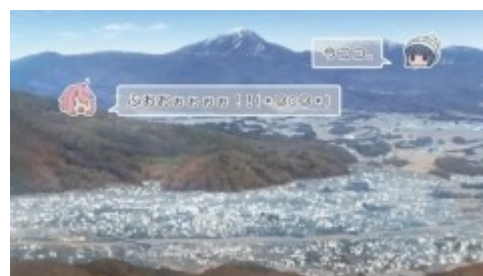
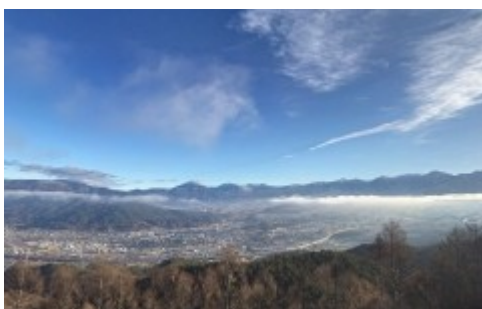
諏訪上伊那方面が3巻にまとまったので、その聖地巡礼用に作成。これを基本に実際の行程を決める。今回も画像は原作、Google ストリートビュー、公式から。

通行止めにあって休憩したのが南アルプス市の「夜叉神の森」。



ここからは国道20号に出て茅野市へ。ひたすら20号を進んで中河原交差点を左折、県道16号を進み安国寺西交差点を左折、国道152号で伊那市へ向かうコースになる。

杖突峠(峠の茶屋)



諏訪地方で今回名前が出るのはここだけ。国道 152 号の途中にある。茅野市街から遠く諏訪湖まで、かなり広い範囲で見渡せるポイント。このすぐ先にゴルフ場があって、その辺りからは伊那市。

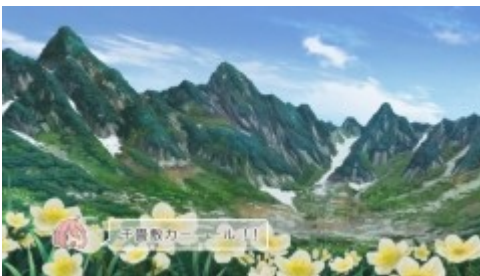
きのこ王国

伊那市にあるキノコのテーマパーク。作中では「きのこ帝国」。名前のみ登場で実際には行かない。



ここから駒ヶ根市

千畳敷カール&中央アルプス駒ヶ岳ロープウェイ
ここも名前のみ。



ファイヤーサイド

その近くのアウトドア雑貨も売っている薪ストーブ店。作中でも行ったようだけれどその様子は描かれず。アニメだと文字だけ。



光前寺

ファイヤーサイドのすぐ近く。早太郎伝説の寺。規模が大きく見どころも多い。早太郎のおみくじもちゃんと売っている。



こまくさの湯

ここもまたすぐ近く。作中では「こまがねの湯」の名前でがっつり登場。ここは良いよ。

「個人向け 食事付入浴券 1020 円で好評発売中！」トップページの下の方にあるコレ。

ソースかつ丼は駒ヶ根市のご当地グルメという扱い。ローメンは作中で言及される通り伊那市のご当地グルメ。ソースかつ丼よりもローメンの方がご当地っぽいのは確か。



陣馬形山

案内 1、案内 2、観光マップ

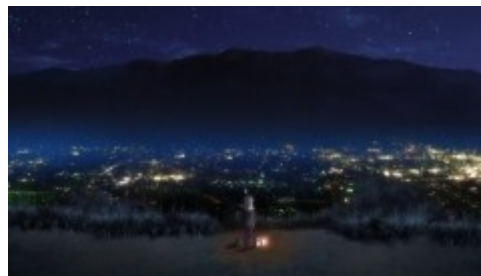
中川村のキャンプ場。

途中立ち寄ったサークルKは駒ヶ根アクセス店だと思う。ということは、こまくさの湯から県道 75 号→古

田切交差点右折→国道 153 号→琴平町交差点左折→県道 49 号→中沢で 210 号へ(信号は無いが看板がいくつも立っていて何となくわかると思う)という流れ。



210 号の途中で右折するとキャンプ場。なのだけれど、ストリートビューで林道整備の工事看板が確認できる。この先の分岐手前で通行止めに出会ったのか。それは挫折したくなるわ。反対側のコースはもともと倍近くかかるコースなのに、そこまで戻ってというのは遠い。無事に通れて本当に良かった。



ということで、3 巻はここまで。ちょうど陣馬形山キャンプ場で終了というのはキリが良いね。

本当はね、このすぐ近くに本坊酒造の拠点があつてね。

ウイスキーを製造販売しているマルス信州蒸溜所、それから同じ蒸溜所内で南信州ビールを製造している駒ヶ岳醸造所。工場見学に試飲、販売もあるので超オススメ。

南信州ビールは近くに直営のレストラン、味わい工房という場所もあるので、そこもオススメ。

ゆるキャン△ 第7話～第9話 聖地巡礼

今回も画像は原作、Google ストリートビュー、公式から。

霧ヶ峰から先、高ボッチ高原(塩尻市)と諏訪市が舞台になる。

第7話「温泉とボッチと山ごはん」(行き)

第8話「それぞれのキャンプ、二人の景色」(夜景)

第9話「お土産と放課後の焼き肉論」(後日談)

全て単行本2巻収録。

高ボッチ高原

特に管理されていないキャンプ場なので注意

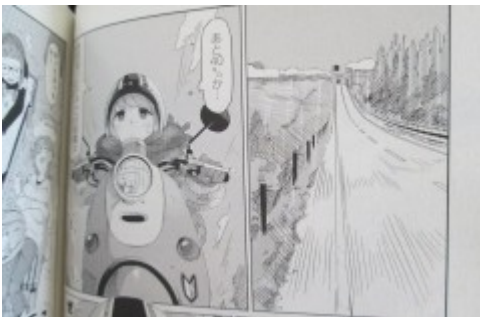
片倉館

国の重要文化財。一見の価値あり

千人風呂も一浴の価値あり。650円。

高島城

再建天守。公園を含めて文化財としての価値はないが撮影ポイントとしての価値は高い。原作の角度は皆が撮影する角度。



最初のあと40kmがいきなりわからない。霧ヶ峰から高ボッチまでが40kmで、ルートは2種類しか選択肢が無い。

県道194号で八島へ、そこから142号、国道20号と移動するか、それとも県道40号で諏訪市の市街地へ降りて(途中一部市道を通る。県道の方が脇道になる区間があって、そのまま県道を進むと別作品の聖地があったりする)、国道20号を進むか。

八島経由の方が風光明媚なだけで、見た感じは後者っぽい。霧の駅の交差点から194号へ入って少

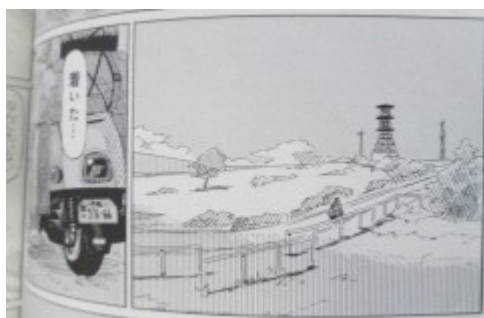
し進んだところから振り返るとこの画になる。



国道 20 号に出たら下諏訪町、岡谷市と経由して塩尻市へ。
塩尻峠を越えて下りに入ればしばらく進むと、右手に高ボッチ入口が。20 号からはこの看板は見えない。
目印になるのは健全育成の看板とワイン樽の看板。この道は速度が出やすいところでもあるので、通り過ぎてしまうのはありがちなこと。



入り口からがまた長い。道幅が狭く周りに何も無いところなので寂しくなる。





ここは最初のトイレがある駐車場からまだだいぶ先。牧場を過ぎて少し走ったくらいか。何も無いと言っている場所はバイクで走っていた道ではなく、牧場と鉄塔の間の遊歩道からの眺めだと思う。



自然保護センターからさらに先へ進むとこの交差点がある。ご覧の通り高ボッチ鉱泉は偽名。崖ノ湯温泉は松本市と塩尻市にまたがって広がる温泉地。





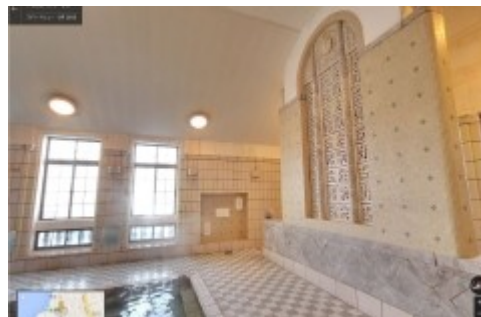
平成 10 年に閉館したホテル鳴神。ここだけが高ボッチ温泉を名乗っていた。
調べればすぐにわかると思うけれど、だいぶ怪しい(失礼)宿なんだよね。よくここへ一人で行こうと考えたものだ。



戻ってきての散策は牧場～鉄塔～自然保護センター～山頂コース周辺に集約されている。
テントを設営した場所もこの間にあるファミリー広場かふれあい広場か展望広場か、そのあたりになると思う。



人気のない夜の山道というシチュエーションがすでに恐ろしいけれど、高ボッチからの諏訪湖の夜景というのは正に絶景なので、行くのであれば是非見てほしい。



ここは諏訪市の片倉館、千人風呂。上諏訪温泉で日帰り入浴だったらここがベストだろう。アニメだとエンディングで。



9話思い出の場面に出てくる城は諏訪市の高島城。コンクリート製の再建天守なので趣は今一つ。これもアニメではエンディング。



お土産の生チョコまんじゅう。生チョコまんじゅうという名前のお菓子は諏訪だと胡蝶庵しか思い浮かばない。これで良いのか？

一応これで6話から9話までの諏訪地方の旅は完成すると思う。この情報だけでも周れることは周れると思うが、雑なまとめ方なのであくまでも参考程度にして、実際に行く場合はきちんと調べるように。しかし距離は長いわ高低差はあるわ、よく免許取り立てであのバイクでこなしたものだ。

今回はゆるキャンに絞ったけれど、諏訪地方は案外聖地がある。有名どころだと東方と咲があって、厳密には聖地というわけではないけれど、もののけ姫関係でも色々がある。先に上げたヤマノススメと、他には極黒のブリュンヒルデ、BLOOD-C、冴えない彼女の育てかた辺り。東方は諏訪大社関係、咲は広範囲に渡り、もののけ姫は場所の絞り込みが難しく、ヤマノススメはハイキングコース全域が聖地。対してブリュンヒルデ、血C、冴えカノはポイントが少なく、他と組み合わせるのが難しい。

あとは、はつきあい、かみわたし、某声優のバーチャルデートとか。

ゆるキャンは聖地巡礼ものとしては有望株だと思うけれど、他もなかなか面白いので興味があれば調べてみると良いだろう。

ゆるキャン△ 第6話「冬キャンと山カフェ」聖地巡礼

6話から9話にかけての舞台が長野県ということで、ネタとして扱っておかないわけにはいかない。そこで実際に行くための予習としてコースを設定する。

あくまでも参考資料として作成。現地まで行けるけれど行かない、やっつけ仕様なので注意。

作品の基点は山梨県身延町になるのでスタートの方向が逆になるのが難点。

画像は原作、Google ストリートビュー、公式から。

ゆるキャン△ 第6話「冬キャンと山カフェ」(単行本1巻収録)

舞台は長野県の真ん中辺。諏訪湖周辺に点在する。ルートとしては山梨県から富士見町の県道17号に入り、霧ヶ峰を目指す形になる。

霧ヶ峰(霧ヶ峰自然保護センター)

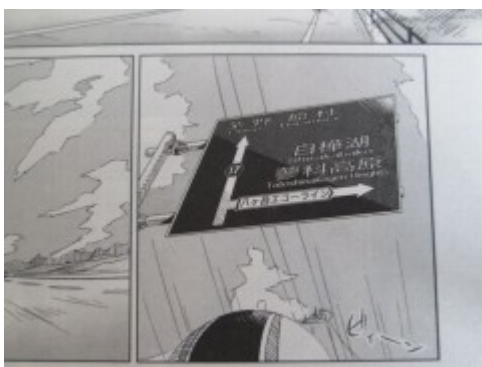
車山や鷲ヶ峰など複数の頂を持つ広大な山。スキー場、ハイキングコース、湿地帯が点在している。

ころぼっくるひゅって

車山側にある山小屋。宿泊、食事、土産品等。

霧ヶ峰ライブカメラ

地元のケーブルテレビ局が設置している道路状況を見るためのカメラ。



この標識があったからといってすぐにエコラインに入るわけではない。



犬を愛でながら曲がった交差点がここ。

原村の分杭。

ここからおそらく茅野市の国道 152 号メルヘン街道まで進み、152 号で白樺湖へ。白樺湖で県道 40 号ビーナスラインへ入り、霧ヶ峰へというコース。

ボルシチを食べた店は霧ヶ峰高原、ころぼっくるひゅって。





で、これを食べた。ボルシチ、パン付き、ドリンクセット。1,300 円。



ポルシチ (パン付)

◎単品 950円
◎ドリンクセット 1,300円

・税込価格です。
・数量限定のため、なくなり次第終了となります。また、オフシーズンにはご提供できないことがあります。



ポルシチはロシア風牛肉と野菜の煮込みスープ。パンと一緒に召し上がりください。



後はライブカメラのポイント。霧ヶ峰がある交差点になる。



地元民的には霧ヶ峰のライブカメラといたらこれだろうけれど、描かれているのは角度が違う。



映像に映っている交差点を左に曲がった場所。ここだろう。だがこの角度のライブカメラは見つからない。あるのか？あったのか？



ついでにこのアドレスは無い。無いよね？

以上、第6話の聖地巡礼コース設定。
このコースの一部と、この一帯、八島、霧ヶ峰、車山全域がヤマノススメの聖地でもある。
良い場所なので、時間と体力に自信があるのならセットで回ることをお勧めする。

この6話と、続く7話～9話までが一セットの行程になっていて舞台が近いので、巡礼旅を計画するときにはまとめることになると思う。その部分の話はまた後日。